

研究業績一覧（2018年1月～12月）

雑誌名	佐久大学看護研究雑誌
巻	11
号	1
ページ	83-91
発行年	2019-03
URL	http://id.nii.ac.jp/1050/00000233/



研究業績一覧(2018年1月～12月)

この研究業績掲載内容は、平成30(2018)年1月から12月までに刊行(発表)された著書、論文、翻訳、学会発表、研究報告書、研究助成の取得等である。(記載順序は、筆頭著者の姓のアルファベットの順とする)

著書

堀内ふき(2017). 高齢者の健康と障害 編集, メディカ出版(大阪).

堀内ふき(2017). 高齢者看護の実践 編集, メディカ出版(大阪).

堀内ふき(2018). 1章1節 高齢者とは, 12-22, 2節 高齢者の特徴と理解, 23-25, 6章3節 セクシュアリティ, 堀内ふき, 大淵律子, 諏訪さゆり(編集) 高齢者の健康と障害, メディカ出版(大阪).

堀内ふき(2017). 高齢者看護の実践(第4版)編集, 排泄を支える看護—尿失禁1章2節44-49, 6節呼吸循環を支える看護. 145, 7節 その他高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護. 175, 2章2節うつ病, 230-235, メディカ出版(大阪).

堀内ふき(2018). 老年看護学を老年医学・高齢者診療に生かす, 日本臨床『老年医学下』. 701-704, 日本臨床社(東京).

堀内ふき(2018). 第5章 看護における倫理, 改訂認知症ケアにおける倫理. 67-77, 株式会社ワールドプランニング(東京).

岡田真平, 横井佳代, 永島美典, 朴相俊(2018). 楽しいフィットネスプログラム「ずくさち体操」. 健康づくり482. 18-19, 東京: 公益財団法人健康・体力づくり事業財団.

朴相俊(2018). こころの健康通信. 健保の窓215. 14, 長野: JA長野健康保険組合.

朴相俊(2018). こころの健康通信. 健保の窓214. 14, 長野: JA長野健康保険組合.

朴相俊(2018). こころの健康通信. 健保の窓213. 14, 長野: JA長野健康保険組合.

朴相俊(2018). こころの健康通信. 健保の窓212. 14, 長野: JA長野健康保険組合.

内田陽子, 島内節(編著), 小山智史, 他(共著)(2018). これからの高齢者看護学 考える力・臨床力が身につく. 初版194-196, 京都: ミネルヴァ書房.

安川揚子(2018). 第3章Ⅳ排泄. 第4章Ⅲ高齢者のヘルスプロモーション. 市村久美子, 島内憲夫(編). 新体系看護学全書 別巻 ヘルスプロモーション. 143-148, 210-212, 東京: メヂカルフレンド

社.

論文

安齋紗保理, 佐藤美由紀, 池田晋平, 他(2018). 地域在住高齢者における筋骨格系の痛みに対する対処方法の実態. 日本公衆衛生雑誌, 65(2), 61-71.

安齋紗保理, 佐藤美由紀, 池田晋平, 他(2018). 地域在住の虚弱高齢者における社会活動に関連する要因. 老年学雑誌, 8, 17-31.

阿藤幸子, 竹尾恵子(2018). 看護師経験1年目と2年目の看護師の看護業務経験の実態と困難感. 佐久大学看護研究雑誌, 10(1), 35~44.

Dodgson, J., Yahiro, M., Tanaka, T., Asano, H., Takeo, K. & Melby, C. (2018). The transformative elements of intercultural education for Japanese nursing students. *Nursing & Health Sciences*, 20(3), 323-330. DOI: 10.1111/nhs.12567.

堀内ふき(2018). 佐久大学10周年を記念して. 佐久大学看護研究雑誌, 10(1), 9-11.

堀内ふき(2018). 認知症の人への歩みから今後を考える. 日本認知症ケア学会誌, 17(1), 30-31.

磯崎理美, 小野瀬陽絵, 津留崎誠, 浦野優子, 安川揚子(2018). 重症心身障害児病棟の災害対策強化への取り組み—実践訓練とアンケート調査結果から—. 茨城県立医療大学付属病院研究誌ひろき, 20, 8-20.

岩淵由美, 佐藤嘉夫, 狩野徹, 他(2018). 東日本大震災後の在宅介護における介護困難の特徴とそ
の変化についての一考察. 厚生指標, 65(13), 32-39.

川鍋紗織, 湯本敦子, 植竹貴子, 他(2018). 産褥期ペアレンティング教育“*What Were We Thinking!*”(日本語版)の有用性の検討—日本における乳児の泣きへの対応・寝かしつけに関する調査—. 文京学院大学総合研究所紀要, 18, 85-95.

牧知秀, 牧佳代子, 小峯秋二, 片岡淳, 篠原秀典, 山口大地, 朴相俊, 他(2018). ソフトテニスのグラウンドストロークにおける新測定法の検討—全国大会出場レベルの高校チームを対象として—. 愛知学泉大学現代マネジメント学部紀要, 6, 21-32.

正木治恵, 北川公子, 湯浅美千代, 百瀬由美子, 山田律子, 堀内ふき(2018). 急性期病院において認知症高齢者を擁護する日本老年看護学会の立場表明2016. 老年看護学, 22(1), 5-9.

松田光子, 森鍵祐子, 細谷たき子, 小林淳子(2018). 山形県の新任期保健師の集団・地域を対象とした実践能力の到達度と家庭訪問との関連. 日本公衆衛生雑誌, 65(1), 10-19.

長澤ゆかり, 安川揚子, 中村摩紀, 他(2018). 老年看護学におけるコミュニケーション演習の効果—通所高齢者とのコミュニケーションに焦点をあてて—. 茨城県立医療大学紀要, 23: 33-39.

朴相俊, 岡田真平(2018). 長野県東御市における心の健康状態及び自殺念慮の要因に関する実態調査—ソーシャル・キャピタル指標との関連性を考える—. 自殺予防と危機介入, 38(1), 1-12.

坂江千寿子(2018). 保護室患者の回復状態と退室時期に関する精神科医師と看護師の認識. 佐久大学看護学研究雑誌, 10(1), 13-23.

佐々木真紀子, 矢田真美子, 片山由加里, 曾田陽子, 中嶋智子, 他(2018). 臨床にあふれている優れた実践例を研究論文にしよう! 事例報告・事例研究の取り組み方. 日本看護診断学会, 23(1), 47-52.

佐藤美由紀(2018). 高齢者の主体的社会参加促進型ヘルスプロモーション. 老年社会科学, 40(3), 308-315.

佐藤嘉夫(2018). 高齢者の福祉・要介護ニーズと生活援助を考える—被災地での調査を手がかりに—. 『ゆたかなくらし』426. 16-22.

佐藤嘉夫(2018). 高齢者の福祉・要介護ニーズと生活援助を考える—被災地での調査を手がかりに—(下). 『ゆたかなくらし』427. 18-25.

清水玲子, 中村美鈴, 平山美紀, 水野照美, 他(2018). 救急医療において延命治療の代理意思決定を行った家族の体験, 関西国際大学研究紀要, 19, 45-55.

束田吉子, 清水久美子, 柴田真理子, 橋本佳美, 田中高政, 飯島良子, 上原明子, 竹内良美他(2018). アフガニスタンの母子保健事情—「JICA 青年研修・母子保健実施管理コース2017」を長野県, 佐久市で実施—. 佐久大学看護研究雑誌, 10(1), 59-66.

上原明子, 柳沢寛貴, 中田覚子, 他(2018). ARCSモデルを用いた救急隊員向け病院前周産期救護の研修設計と実践. 佐久大学看護学研究雑誌, 10(1), 45-52.

上原明子, 中田覚子, 小林美記(2018). 助産学生を対象としたADDIEモデルによる新生児蘇生法「専門」講習会の実践報告. 佐久大学看護学研究雑誌, 10(1), 53-58.

安川揚子, 金井欣秀, 島田智織(2018). 保健医療に関するラオス研修報告. 茨城県立医療大学紀要, 23, 85-91.

依田明子, 佐藤由美(2018). 禁煙外来受診者が禁煙を開始し継続する心理的プロセス. 日本地域看護学会誌, 2(3), 15-23.

依田明子, 宮崎紀枝, 細谷たき子, 友安直子, 征矢野文恵(2018). 地方の農産物直売所の運営に住
民が関わって生じた変化. 佐久大学看護研究雑誌, 10(1), 25-34.

吉田文子, 柳澤佳代, 八尋道子, 大和田由希, 阿藤幸子, 鈴木千衣, 征矢野あや子, 吉川三枝子
(2018), 「臨地実習指導者研修セミナー2017」評価: プロフェッショナルリズム導入の効果. 佐久大学看
護研究雑誌, 10(1), 67-76.

翻訳

なし

学会発表

浅野均, 磯田信賢, 安川揚子, 小川仙月, 中村摩紀, 赤木裕子, 田畑邦雄, 渡邊俊文, 柳下文江,
堀内ふき(2018). 訪問看護師からみた在宅高齢者の暮らしを支えるための課題. 日本老年社会科学
会第60回大会.

萩原和章, 松下由美子, 吉川三枝子(2018). 階層プラトー状態にある中間看護管理者の内容プラト
ー化に関連する要因. 第49回日本看護学会—看護管理—学術集会講演集, 179.

堀内清美, 松下由美子, 吉川三枝子(2018). 一般病棟で看護補助者として働く介護福祉士の仕事へ
のモチベーションに関連する要因の検討. 第22回日本看護管理学会学術集会抄録集, 367.

井坂恵, 市村久美子, 安川揚子(2018). 高齢者とその家族の胃瘦造設検討時における摂食嚥下障害
看護認定看護師の意思決定支援. 第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会.

磯田信賢, 田畑邦雄, 安川揚子, 浅野均, 中村摩紀, 堀内ふき(2018). 在宅高齢者が安全に暮らし
続けるための現状と対策に関する調査・考察. 2018年度日本建築学会大会.

北川公子, 小野美香子(2018). 緩和ケア病棟における認知症併存がん患者に対する看護師の困難感
に関する検討. 日本老年看護学会第23回学術集会抄録集, 141.

木内小百合, 八尋道子, 市川慶子, 町田福水, 中島里美(2018). 看護のプロフェッショナルリズムへ
向けて: 臨床主導の倫理ワークショップで大学教員とコラボする. 日本看護倫理学会第11回年次大
会抄録集, ワークショップ11, 55.

箕輪千佳, 鈴木恵理, 柿澤美奈子, 他(2018). 交流集会. 看護実践に「確かな看護」: リラクセーショ
ン法を取り入れる際の課題. 第38回日本看護科学学会学術集会講演集 web版, 116-117.

長澤ゆかり, 安川揚子, 中村摩紀(2018). 地域包括支援センターの保健師が考える認知症高齢者の
夫介護者支援の特性. 第23回日本在宅ケア学会学術集会.

中田覚子, 上原明子, 窪田真也, 他(2018). 救急隊員の新生児蘇生に対する不安の実態調査～研修受講直後と3ヶ月後の比較～. 第21回長野県母子衛生学会総会・学術講演会プログラム集, 4.

小川仙月, 浅野均, 磯田信賢, 安川揚子, 中村摩紀, 赤木裕子, 田畑邦雄, 渡邊俊文, 柳下文江, 堀内ふき(2018). 在宅高齢者の生活と住環境理学療法士のグループインタビューから. 日本老年社会科学会第60回大会.

小野美香子, 北川公子(2018). 認知症を有する触法高齢者の健康の実態—更生保護施設利用者に焦点をあてて—. 第19回日本認知症ケア学会大会, 日本認知症ケア学会誌, 17(1), 286.

小野美香子, 北川公子(2018). 更生保護施設に入所する触法高齢者の疾患の特徴と日常生活への影響. 日本老年看護学会第23回学術集会抄録集, 204.

岡田真平, 半田秀一, 朴相俊(2018). 長野県の小中学生の身体活動・運動, 生活習慣等の特徴～全国データの都道府県比較から～. 信州公衆衛生学会誌, 13, 44-45.

齋藤順子, 吉川三枝子, 松下由美子(2018). 中堅看護師の組織風土がキャリア・プラトナー化に与える影響と退職意思との関係. 第22回日本看護管理学会学術集会抄録集, 301.

佐藤美由紀, 若山好美, 吉田裕人, 他(2018). アクションリサーチにより創出された住民主体による地域活動の長期的効果. 第77回日本公衆衛生学会総会抄録集, 424.

佐藤嘉夫, 小池隆生, 浜岡政好(2018). 貧困の「農村的」性格と福祉政策の課題. 貧困研究会(学会), 第11回研究大会.

関本真奈美, 鈴木知代(2018). 住民主体の介護予防活動「通いの場」における活動実態と課題. 日本地域看護学会第21回学術集会講演集, 117.

鈴木仁一, 植田紀美子, 橘とも子, 谷掛千里, 橋本佳美(2018). 障害・難病グループモニタリング平成29・30年度活動報告. 第77回日本公衆衛生学会抄録集, 457.

Takahashi, M., Aoyagi, Y., Uetake, T., Yumoto, A.(2018). Development of a Japanese version of “What were we thinking!” a psycho-educational programme to support postnatal parenting. International Marce Society Conference on Perinatal Mental Health(MARCE2018), Bangalore, India.

竹内久美子, 松下由美子(2018). 看護師の初期キャリアにおける個人の心理状況と組織コミットメントの関係. 日本看護研究学会第44回学術集会, 日本看護研究会雑誌, 41(3), 484.

竹内久美子, 松下由美子(2018). 看護師の初期キャリア発達支援に関する研究—入職3年目の自己

効力感と組織コミットメントの関連―. 日本応用心理学会第85回大会発表論文集, 96.

谷川幸弘, 吉川三枝子, 松下由美子(2018). 看護部長の変革型リーダーシップとLMX(Leader-Member Exchange)形成との関係―部下評価を用いて―. 第22回日本看護管理学会学術集会抄録集, 210.

丹野清美, 田中朋宏, 池田漠, 河村英将, 朴相俊, 他(2018). ヘルスケア分野のデータサイエンティスト(HDS)育成のためのシステム構築―HDSの職掌からの検討―. 統計推理研究所H29年度共同利用重点型に基づく研究集会「データサイエンス人材育成メソッドの新展開」.

戸沢智也, 松下由美子, 簗持知恵子(2018). 看護介入モデルを用いて作成した個別禁煙指導プログラムの効果の検証―急性冠症候群患者に対するランダム化比較試験―. 第15回日本循環器看護学会学術集会プログラム・抄録集, 104(優秀演題に選出).

束田吉子, 清水久美子, 坂江千寿子, 柴田真理子, 橋本佳美, 田中高政, 上原明子, 竹内良美, 他(2018). 「長野県佐久市に於けるアフガニスタン母子保健実施管理コース2017」の実施. 国際保健医療, 33(3), 189.

内山明子, 吉田文子, 吉川三枝子(2018). PNS[®]におけるフレッシュパートナーおよび新人看護師の自己効力感とコーピングの関連. 第49回日本看護学会, 看護管理学会抄録集, 205.

上原明子(2018). ICTを活用した助産学生向け分娩機転に関する反転授業デザイン. 第10回日本医療教授システム学会総会プログラム・抄録集, 50-51.

上原明子, 柴田真理子, 竹内良美(2018). 助産学生を対象とした実習前客観的臨床能力試験(OSCE)の実践と課題. 第59回日本母性衛生学会総会学術集会抄録集, 235.

上原明子, 中田覚子, 窪田真也, 他(2018). 救急隊員向け新生児蘇生法に関する研修設計と課題. 第21回長野県母子衛生学会総会・学術講演会プログラム集, 4.

Uetake, T. Honda, Tomoko. **Yumoto, A.**(2018). Prevalence of crying and sleeping problems among parents of a first baby in Japan. MARCE2018, Bangalore, India.

Yahiro, M.(2018). Patient's Dignity in Nursing: Japanese Cases and Concerns. Seminar on Inpatient Dignity Scale, PAPRSB Institute of Health Science, UBD, Brunei Darussalam.

Yahiro, M.(2018). The use of case study in nurturing nursing students as pivotal resource for provision of dignified care. The 19th International Nursing Ethics Conference(INEC) & The 4th International Ethics in Care Conference(INECC), at the Catherine McAuley School of Nursing and Midwifery, Brookfield Health Sciences Complex, UCC, Cork, Ireland, Abstract 71.

吉橋邦泰, 征矢野あや子, 坂江千寿子(2018). 精神科病棟で働く看護師のコンピテンシーと職場ストレスとの関係. 第38回日本看護科学学会学術集会プログラム集(愛媛市).

吉川三枝子, 松下由美子, 吉田文子, 内山明子, 吉田和美(2018). 看護管理者の成長を促進した経験. 第38回日本看護科学学会学術集会講演集, Web版 O44-3.

安川揚子, 柳下文江, 小川仙月, 田畑邦雄, 渡邊俊文, 中村摩紀, 磯田信賢, 赤木裕子, 浅野均, 堀内ふき(2018). 建築士が捉える在宅高齢者の安全な住まい環境. 日本老年社会科学会第60回大会.

弓削美鈴, 稲井洋子(2018). 性の健康意識と自尊感情および自己効力感との関連. 母性衛生, 59(3), 241.

研究報告書

小野美香子, 北川公子(2018). 更生保護施設における触法高齢者の健康の実態とニーズに関する調査研究. 共立女子大学・共立女子短期大学総合文化研究所紀要, 24, 53-61.

太田勝正(研究代表者), 八尋道子, 前田樹海, 松田正巳(研究分担者). 患者尊厳測定尺度国際版 iPDS を英国の病院評価のための標準ツールにする研究. 平成26-29年度日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究(課題番号26670921)研究報告書.

鈴木仁一, 植田紀美子, 橘とも子, 谷掛千里, 橋本佳美(2018). 障害・難病のモニタリングレポート. 平成29/30年度公衆衛生モニタリングレポート年次報告書.

研究助成の取得

福宮智子(研究代表者), 井出由美, 佐藤陽子, 柏崎純子, 梅田恵, 八尋道子, 前田樹海(研究分担者). 看護師の倫理的行動を促進する教育・支援プログラム開発のアクションリサーチ. 平成29-33年度科学研究費基盤研究(C) (課題番号17K12093).

芳賀博(研究代表者), 佐藤美由紀(分担研究者), 吉田裕人. 住民主体による高齢者の地域活動促進プログラムの健康増進及び介護予防への長期効果. 平成28-30年度年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C) (課題番号16K01770).

小林睦(研究代表者), 鈴木千衣, 橋本佳美, 石坂俊也. 小児科外来におけるトリアージのシミュレーション演習の学びと課題(佐久大学学内研究費助成).

箕輪千佳(研究代表者), 鈴木恵理, 柿澤美奈子(研究分担者). 慢性疾患患者のうつ病予防のためのメンタルヘルスケアプログラムの開発と評価. 平成29-31年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) (課題番号17K12232).

宮崎紀枝(研究代表者), 依田明子. 地域で開業する看護職に特有なコンピテンシー: 持続可能な地

域を創造する事業化能力。平成30-32年度日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C) (課題番号18K10523)。

中田覚子(研究代表者)。妊娠初期の就労妊婦のQOL向上を目指した看護支援の導出にむけた基礎的研究。平成30-31年度日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(課題番号18K17587)。

中田覚子(研究代表者)、**上原明子**、**竹内良美**、**櫻井綾香**、**湯本敦子**、**吉田文子**。妊婦の足部形態とマイナートラブルとの関連。(佐久大学学内研究費助成)。

太田勝正(研究代表者)、**八尋道子**、**大熊美世志**、**夏目美貴子**、**山田聡子**、**前田樹海**(研究分担者)。看護学生の道徳的感受性の全国調査と育成のための教育プログラムの開発。平成30-33年度科学研究費基盤研究(B) (課題番号18H03074)。

朴相俊(研究代表者)、**征矢野あや子**、**岡田真平**。地域中小企業で働く職員の心の健康問題の特定と職場環境改善に向けての探索的研究—ストレスチェックデータの集団分析による職場状況見える化(佐久大学学内研究費助成)。

朴相俊(研究代表者)。ストレスチェックデータの集団分析による職場状況見える化と職場環境改善工夫の検討。平成30-31年度日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援(課題番号18H06379001)。

佐藤美由紀(研究代表者)、**芳賀博**、**長田久雄**。当事者参加型アクションリサーチによる認知症の人と家族介護者にやさしい共生社会創造。平成30-33年度年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C) (課題番号18K10623)。

佐藤嘉夫(研究代表者)、**小池隆生**。貧困の農村的性格と貧困政策のあり方に関する調査研究。平成27-30年度。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) (課題番号15K04015)。

塩飽邦憲(統括責任者)、**朴相俊**(研究ワーキングチーム)。日本農村医学会生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」。

竹内久美子、**松下由美子**。看護師のキャリア初期における組織適応に関する研究。平成25-30年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) (課題番号25463364)。

丹野清美(研究代表者)、**朴相俊**(分担研究者)。医療・看護・保健分野におけるデータサイエンティスト育成のためのシステム構築の検討(2018年度統計数理研究所共同利用研究助成)。

束田吉子(研究代表者)、**小林睦**、**依田明子**、**飯島良子**。佐久地域における1970年以降のHIV/AIDS感染症に対する地域医療・看護活動を明らかにする(佐久大学学内研究費助成)。

Akiko Uehara. Japanese nurse-midwifery students' perception of flipped learning about assessment phase of the nursing process about the delivery stage. The 16th Asia Pacific Medical Education Conference(Singapore). (佐久大学学長裁量研究費).

上原明子(研究代表者), **湯本敦子**, **柴田真理子**, **清水久美子**, **竹内良美**, **中田覚子**. 佐久大学別科助産専攻修了生の動向と開設10年を迎えた今後の展望(佐久大学学内研究費助成).

上原明子(研究代表者), **湯本敦子**, **柴田真理子**, **竹内良美**, **中田覚子**, **清水久美子**他. 佐久大学別科助産専攻における教育評価と修了生のコンピテンシー達成状況—混合型研究による卒前・卒後のシームレスな学び構築に向けた検討—(佐久大学学内研究費助成).

安川揚子(研究代表者). 高齢者が住み慣れた自宅で暮らすための住宅環境要件. 平成27-30年度日本学術振興会科学研究費補助金挑戦的萌芽研究(課題番号JP15K15888).

安川揚子(研究代表者). 老年看護学教育における認知症高齢者の理解を促す教材検討(佐久大学学長裁量研究費).

山内豊明(研究代表者), **三苦里香**, **川西美佐**, **吉田文子**, **今磯純子**, **相馬孝博**, **中神克之**, **佐伯街子**. アセスメントモデルの構築ならびに実践能力育成に向けた学際的実証研究. 平成25-30年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B) (課題番号25293431).

吉田文子(研究代表者), **松田安弘**, **荘島 宏二郎**, **網野 寛子**, **山内豊明**, **柳澤佳代**. 看護師等養成所における教員のカリキュラム開発力に関する研究. 平成30年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業) (課題番号H30-医療-一般-003).

吉田文子(研究代表者), **山内豊明**, **川西美佐**. TSASを用いたティーチングスタイルの日米比較研究. 平成28-31年度日本学術振興会科学研究費助成金基盤研究(C) (課題番号16K11933).

その他

堀内ふき(2018). 大学を中心としたまちづくり. 第62回長野県国保地域医療学会誌, 64-69.

小野美香子(2018). 第107回看護師国家試験解答と解説(老年看護学)系統別看護師国家試験問題集2019年版 系統看護学講座編集室(編). 系統別看護師国家試験問題集, 東京: 医学書院.

佐藤美由紀(2018). アクシオンリサーチに基づいた高齢者主体による社会参加促進型ヘルスプロモーション. 奨励賞受賞記念講演, 老年社会科学, 40(2), 155-156.